

【様式例 1 6（設立代表者から借入する場合）】

金銭消費貸借契約書

平成 年 月 日

貸主（以下「甲」という）と借主（以下「乙」という）は、次のように金銭消費貸借契約書を締結した。

第 1 条（貸借）

甲は、乙に対し、金 万円を、次条以下の約定で貸し渡し、乙はこれを借り受け、受領した。

第 2 条（利息）

本件消費貸借の利息は、元金に対し年0%とする。

第 3 条（弁済期）

乙は、甲に対し、元金については平成**年**月**日限り甲の住所に持参し、又は送付して支払う。

第 4 条（失権約定）

乙は、次の場合には、甲の催告を要せず当然に期限の利益を失い、直ちに元金を支払わなくてはならない。

1 乙が第三者から差押・仮差押・仮処分を受け、若しくは競売の申立又は破産宣告の申立を受けたとき。

この契約の成立を証するため、本書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、各自 1 通を所有する。

平成 年 月 日

(甲) 住 所 ****
氏 名 ** ** (印)
(乙) 住 所 ****
氏 名 医療法人社団 ****
設立代表者 ** ** (印)